

令和7年度山城地方 「子どもと本をつなぐ」地域連携会議 ～つながり広げよう読書活動推進の輪～

読書が大好きな子どもを育て、生涯にわたる読書習慣を身に付けさせるために、学校、家庭、地域、公立図書館等がそれぞれの立場でできることを考え、実践交流することを通して、地域が一体となって幼児・児童・生徒の読書の質と意欲を高める読書活動を推進することを目的に開催しました。



令和7年度「本とおともだちカードコンテスト」「本のポップカードコンテスト」優秀賞受賞作品展示を行いました。

令和7年11月11日(火)午後2時～同4時30分
京都府田辺総合庁舎 講堂・第4会議室にて
読書ボランティア、学校司書等 約50名が参加

実践報告「町の本屋での親子の本選び」
山城書店 店長・絵本専門士 森武 紀明 様

【参加者の感想】実践報告

- 「絵本専門士」についてよくわかった。興味がわいた。
- 書店の店長・絵本専門士としての視点から、読書に親しむ環境を整える実践が大変参考になった。
- 子どもの「読んでみたい」という気持ちを尊重し、また大人も一緒に楽しむことの大切さを教えていただきました。
- 「本を好きになるには、親と一緒に楽しむ」ですね。
- 絵本の3人3冊での読み聞かせは、こんな読み方もあるのかと思います、新鮮でした。やってみたいです。

グループ交流・全体交流

【参加者の感想】まとめ

- 異なる立場で交流できる貴重な機会でした。
- 新規にボランティアを始めたいという人がいたので、皆が現状やアドバイスができてよかった。
- 中学校での取組に興味がありました。取組一つで本への関心が高まる、また、紹介して下さった本がとても興味深かったです。
- 小学校・中学校の取組が素晴らしかった。熱心な方も多く、刺激を受けた。

「まとめ」
帝塚山大学 教授 徳永 加代
(山城地方子どもの読書活動推進協議会会長)

